

計画案に係る変更箇所一覧(前回委員会からの修正)

頁	変更箇所	変更内容	備考
1	第1 3 3行目	「今後も～」の一文を、「今後も市民サービスの充実を図り、市民生活の安全・安心を確保しながら限られた財源を有効に生かすため、職員の意識改革や施策・事業の一層の「選択と集中」を行っていくこと、また、引き続き行財政のスリム化を進めていくことが求められています。」に修正。	委員の意見を受けて、「市民サービスの充実」を強調した。
3	第3 2(2)	「行政事務の効率化、」を削除。	「効率的な行政運営」と重複していたため。
4	第3 3(1)	2文の順序を入れ替えた。	企業誘致など、収入総額を増やすものを前にもってきた。
6	第4 1(2)No.6 NPO・ボランティアの育成	・項目名を「NPO・ボランティア等地域活動の担い手の育成」へ修正。 ・担当課に「協働推進課、」を加える。 ・「内容・目標等」を修正。 「多様化する地域課題に対応するため、NPO・ボランティア団体等の育成を図り、連携・協働することにより、多様な団体や個人がそれぞれの専門性や能力を生かし、市民と行政が協働してまちづくりを進めていく仕組みを構築する。 〈各課の取組〉 ○公民館等で実施する「ふれあいサロン」等の担い手として活動しているボランティアの育成及び支援を図る。(介護保険課) ○地域で見守りを必要としている方を、日常生活において無理のない形で見守っていくため、地域の実情に応じた見守りの仕組みやルールを検討しながら活動の担い手の育成を図る。(福祉課)」へ。	
10	第4 2(2)No.17 自治体情報システムのクラウド化	「内容・目標等」を修正。 「コスト削減、電算機器維持管理等の業務負担の軽減、業務の標準化、情報セキュリティの向上及び災害対策を目的として、複数団体共同による自治体情報システムのクラウド化を目指す。」へ。	
12	第4 3(2)No.23 長期的な公共施設等の維持管理	・「内容・目標等」を修正。 「公共施設等総合管理計画において、長期的な視点に立った維持管理及び更新の市全体及び施設類型ごとの方針を作成し、将来の財政負担の軽減や平準化を行っていく。また、方針に基づいた管理や更新等の目標が達成されているか進捗管理を行っていく。」へ。 ・H29年度計画を「継続実施」から「将来更新費の推計に基づく目標の進捗管理」へ。	
13	第4 2(2)No. 24 統一的な基準に基づく財務書類の作成と活用	・項目名中「作成と活用」を「作成と公表」へ修正。 ・H29年度計画中「平成28年度決算に基づく」を「前年度決算に基づく」へ修正。 ・H30年度計画中を「継続実施」へ修正。	
16	第4 3(2)No.34 適切な補助金交付の実施	「補助の目的や～補助効果等」を「補助の目的、公益性、有効性、適格性、補助効果等」に修正。	H24年度に作成した補助金交付基準の表現にそらえた。
17	第4 3(2)No. 35 地方債現在高の縮減	・内容・目標等中「H33年度末の地方債現在高168億円以下を目標」を「H32年度末の普通会計地方債現在高 170億円を目標【総合計画指標】」へ修正。年度計画もそれに対応して修正。	
17	第4 3(2)No.36 特別会計等の健全化推進	・「国基準を超える精神結核医療費の見直し」を「精神・結核特別調整交付金対象の精査」に修正。 ・「国保特別会計の健全化を図る」を「国保特別会計の健全化を図り、赤字の解消を目標とする。」へ修正。	